



40

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2021年2月7日号

編集 / 毎日新聞社販売局D・クリエーションセンター

東日本大震災10年 依存症に苦しむ人たち

11日(木・祝)
=1面、特集面



新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛などの影響で、アルコール依存を抱える人の症状が悪化していると報じられていますが、東日本大震災をきっかけにアルコール依存症となり、今も苦しむ人たちがいます。津波や原発事故で家族や

自宅、職を失い、ストレスや孤独に悩まされたことが大きな引き金となりました。自殺につながってしまったケースも報告されています。こうした事例を取り上げるとともに、震災後に広まった、依存症克服に向けた新たな取り組みも紹介します。

【写真説明】
アルコール依存症になった男性が引越し祝いにもらった酒。開けずに母親の遺影のそばに置いている=岩手県釜石市で2021年1月31日撮影

特集 ワイド

感染症医・忽那賢志さんの現場報告

9日(火)=夕刊特集ワイド



首都圏などに再発令された緊急事態宣言は来月7日まで延長され、政府は新型コロナウイルス対策を本格化させています。新規感染者数が減少傾向を示しているとはいえ、コロナ禍に直撃されている医療現場では今も苦

戦が続いています。コロナ患者と向き合う現場の状況や、開発中の治療法などについて、国立国際医療研究センター(東京都新宿区)の感染症医、忽那賢志さん(42)=写真=をインタビューしました。

世界子ども救援キャンペーン 「小さな声～コロナの陰で」 9日(火)から=社会面



新型コロナウイルスの影響で、貧困や災害、紛争などで苦しむ世界の子どもたちは、さらに厳しい環境に置かれています。10カ月以上も学校に行けないフィリピンのスラム街の男の子、父親の仕事がなくなり市場へ働きに

出たネパールの女の子……。42年目を迎えた「世界子ども救援キャンペーン」は、コロナ禍でかき消されそうになっている各地の「小さな声」を伝えます。

※写真はNPO法人アクセス提供



秋篠宮ご夫妻の長女・眞子さま(29)と小室圭さん(29)の結婚延期が宮内庁から2018年2月6日に発表されてから3年が経過しました。問題解決に向けた今後のスケジュールがどうなるか、状況から見えるよう

ない中、小室さんに対する週刊誌を中心としたバッシングとも言える報道はとどまる気配がありません。一人の女性皇族の結婚問題を巡る状況から見えるよう

論点 眞子さま結婚問題を考える

10日(水) II オピニオン面

しようか。識者に意見を聞きました。

【写真説明】
婚約が内定し、記者会見される秋篠宮家の長女眞子さまと小室圭さん(東京・元赤坂の赤坂東邸で2017年9月3日(代表撮影))



編集後記

世界が、震災の現場に目を向け、映像が流れる。10年経った今、私たちは、過去の悲劇を思いながら、目の前の日常を生き抜いていく。分けることが、いまの自分たちにできることか。うと、自らを思い出す。被災地の現在も、コロナの現実も、ひとりひとりが思いを持ち、動くことが、何かを変え、希望を築くことか。中を押す存在でありたい。そう願います。(千代崎聖史)